

家庭科のねらい

- (1) 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めるとともに日常生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付け、家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てます。
- (2) よりよい家庭生活を創造する力と意欲を育てます。

学習予定

学期	学習する単元の名称	主な学習内容
前期	生活時間を見直してみよう	毎日の自分の生活時間を見て、よくしたい点を見つけ、その原因や解決方法を考える。
	見直そう！毎日の食事 ①どんな食べ物を食べているのかな ②ごはんのみそしるをつくろう ③おかずの必要性を考えよう	毎日の食事の食べ物の組み合わせに関心をもつ。 ごはんの炊き方とみそしるのつくり方を調べて調理計画を立てて、工夫して調理する。 1食分の食事の栄養的なバランスを考える。
後期	つくろう！さわやかな生活 ①気持ちよく過ごそう ②衣服の着方を考えよう ③衣服の手入れをしよう	暑い季節の生活の工夫に関心をもつ。 衣服の働きや着方について調べ、気温や季節の変化、生活場面に応じた着方考える。 気持ちよく着るための手入れの必要性を理解する。
	④生活に役立つ物をつくろう まかせてね！きょうのごはん ①食べ物の組み合わせを考えよう ②家族の喜ぶおかずをつくろう ③楽しい食事をくふうしよう くふうしよう！季節に合うくらし ①季節に合うくらしを考えよう ②快適な住み方を工夫しよう 伝えよう！ありがとうの気持ち ①できるようになったことをふり返る ②家族へ地域へふれ合いを広げよう ③わたしの気持ちを伝えよう これからの生活に向けて	自分なりに工夫して、生活に役立つものを考える。 自分の食事の仕方や栄養的なバランスを考え、よりよい食事を工夫する。 栄養的なバランスを考えて、食べ物を組み合わせる必要があることを理解する。 家族のために、栄養的にバランスのよい1食分の食事を計画する。 家族の喜ぶおかずを工夫して調理する。 食事にはふれ合いを深めるはたらきがあることを理解し、楽しい食事にするために工夫する。 季節の変化に合わせて、どのように生活を工夫しているかを考えるとともに、家庭で行っている住み方の工夫を見つけ、実践する。 あたたかさ・風通し・明るさの中から、自分が課題にしたいことを選び、調べたり、試したり、考えたりして課題の解決を図り、発表する。 今までの学習を振り返り、自分ができるようになったことや実行していることをまとめ、自分の生活の仕方や家族への思いの変化などを考える。 家庭生活を見直し、もっと工夫できることや協力できることを考える。 地域の人々とのつながりについて見直し、もっと工夫できることや協力できることを考える。 お世話になった人たちにどんな感謝の気持ちの伝え方があるか発表する。 準備してきたことを実行し、感謝の気持ちを相手に伝える。 2年間の学習をふり返る。

評価の観点

授業への参加態度、ワークシート、実技、作品、発表、単元テストなどを参考に評価します。

家庭科では次の4つの観点で各学期単元ごとに評価します。

- ① 学習に関心をもち、進んで取り組もうとする。
- ② 家庭生活を見直し、よりよい生活を目指して考えたり工夫したりすることができる。
- ③ 衣食住や家庭の生活に必要な基礎的な技能を身に付けることができる。